

令和6年9月11日

国土交通省関東地方整備局

横浜港湾空港技術調査事務所

「海の月間」の取り組みを通じて地域の小学校と連携しています

横浜港湾空港技術調査事務所では構内の生物共生型護岸「潮彩の渚」（人工干潟）を活用して、地域の小学校と連携した様々な取り組みを行っています。また、東京湾クリーンアップ大作戦の一環として、漂着ゴミの回収活動も行いました。

○横浜市立篠原小学校 出前講座 ～「海の日」をきっかけに海のことを考えてみよう～
実施日：令和6年7月5日

○横浜市立幸ヶ谷小学校 出前講座 ～東京湾内の海面浮遊ゴミの実態を考えてみよう～
実施日：令和6年7月16日

○第39回東京湾クリーンアップ大作戦 ～漂着ゴミの回収活動～
実施日：令和6年7月9日、7月22日

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所

電話：045-461-3896 メールアドレス：info-y83ab@mlit.go.jp

環境課長 大坪（おおつぼ） （内線：36）

横浜市立篠原小学校にて出前講座を実施しました

「海の日」を前に海の日について考える出前講座を、篠原小学校4年生の皆さん（4クラス約120名）と行いました。

「海のもたらす恩恵に感謝」するにはまず海について知ることからという考えで、現在の東京湾の水環境のことやブルーカーボンなどの取り組みを紹介することで意見交換したり、潮彩の渚（当事務所生物共生型護岸）の生き物とふれあいながら海のことを広く知ってもらい、海のことを身近に感じてもらいました。

各クラスの皆さんからは「海のいきものについてもっと知りたくなった」といった感想や、今後の総合学習を通じて「海」に関する様々な活動を行ってみたいという意見をいただきました。

この出前講座を機に10月には環境学習でのご来所が予定されています。

【開催状況】



座学の様子



東京湾の水質モニタリング状況
(東京湾環境情報センター) (※1)



生き物タッチプール体験



干潟の貝殻を耳に当てている様子

(※1)

○東京湾環境情報センター (TBEIC) : <https://www.tbeic.go.jp/>

潮彩の渚の漂着ゴミを活用した環境学習を行っています

海の月間の取り組みである第39回東京湾クリーンアップ大作戦を当事務所構内の潮彩の渚でも実施し、その際回収した漂着ゴミなどを活用して東京湾内の海面浮遊ゴミの実態と問題点について考える出前講座を幸ヶ谷小学校4年生の皆さん（1クラス約30名）と行いました。

海面浮遊ゴミや海洋マイクロプラスチック問題にちなんで、現在の東京湾のゴミの実態とその問題点についてクラスの皆さんと一緒に考えました。

座学では、東京湾クリーンアップ大作戦（※2）において、当事務所の潮彩の渚で回収した漂着ゴミを紹介し、どんなゴミがどこからやって来るのかといったことを子供たちと一緒に考え、海面浮遊ゴミが身近な問題であることを感じてもらいました。

座学で紹介した漂着ゴミは、ペットボトル、食品パッケージ、大型のプラスチック製品や枝葉など多種にわたり、食品の製造時期は直近のものもあれば、数年前のものも見受けられ、幅広く見つかりました。

クラスの皆さんからは「海のゴミの深刻さを知って驚いた」、「海にゴミを捨てないでほしいことを呼びかけたい」といった感想をいただきました。

この出前講座は、夏休み明けの9月以降も継続することとしています。

（※2）

○横浜港湾空港技術調査事務所における第39回東京湾クリーンアップ大作戦の実施

実施日：令和6年7月9日

・ 関東運輸局鉄道部との共同実施

令和6年7月22日

・ 調査業務受注者（復建調査設計株式会社）及び管内事務所職員との共同実施

【開催状況】



座学の様子



簡易に分別した回収ゴミ



回収ゴミの観察の様子



潮彩の渚での漂着ゴミの回収状況
(東京湾クリーンアップ大作戦)